

決算報告書

(第3期)

令和2年度

自 令和2年4月1日

至 令和3年3月31日

公益財団法人 関東貸切バス適正化センター

貸 借 対 照 表

令和3年3月31日 現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	301,268	261,323	39,945
預金	40,576,457	52,984,775	△ 12,408,318
未収金	12,571,560	2,771,180	9,800,380
貸倒引当金	△ 2,875,710	△ 1,721,310	△ 1,154,400
流動資産合計	50,573,575	54,295,968	△ 3,722,393
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	7,952,300	5,963,236	1,989,064
特定資産合計	7,952,300	5,963,236	1,989,064
(3) その他固定資産			
建物附属設備	375,004	409,375	△ 34,371
工具器具備品	124,781	189,526	△ 64,745
その他固定資産合計	499,785	598,901	△ 99,116
固定資産合計	11,452,085	9,562,137	1,889,948
資産合計	62,025,660	63,858,105	△ 1,832,445
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	0	0
未払費用	798,592	1,727,669	△ 929,077
預り金	692,494	540,262	152,232
仮受金	95,420	68,690	26,730
賞与引当金	8,427,134	8,569,789	△ 142,655
流動負債合計	10,013,640	10,906,410	△ 892,770
2. 固定負債			
退職給付引当金	7,952,300	5,963,200	1,989,100
固定負債合計	7,952,300	5,963,200	1,989,100
負債合計	17,965,940	16,869,610	1,096,330
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(3,000,000)	(3,000,000)	(-)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(-)
2. 一般正味財産	41,059,720	43,988,495	△ 2,928,775
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(-)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(-)
正味財産合計	44,059,720	46,988,495	△ 2,928,775
負債及び正味財産合計	62,025,660	63,858,105	△ 1,832,445

正味財産増減計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	179	299	△ 120
基本財産受取利息	179	299	△ 120
特定資産運用益	53	36	17
特定資産受取利息	53	36	17
事業収益	124,523,070	133,003,160	△ 8,480,090
事業者負担金	124,523,070	133,003,160	△ 8,480,090
受取寄附金	3,000,000	3,000,000	0
受取寄附金	3,000,000	3,000,000	0
雑収益	8,015,836	232,650	7,783,186
受取利息	836	1,090	△ 254
延滞金収入	0	231,560	△ 231,560
雑収入	8,015,000	0	8,015,000
経常収益計	135,539,138	136,236,145	△ 697,007
(2) 経常費用			
事業費	126,625,754	130,232,737	△ 3,606,983
役員報酬	458,000	397,000	61,000
委員手当	140,000	180,000	△ 40,000
人件費	95,222,232	92,609,017	2,613,215
賞与引当金繰入額	7,930,607	8,072,017	△ 141,410
退職給付費用	3,738,948	2,658,550	1,080,398
福利厚生費	865,483	455,444	410,039
委託費	0	5,822,950	△ 5,822,950
旅費	8,637,333	8,923,562	△ 286,229
設備費	2,765,492	2,812,250	△ 46,758
研修費	36,000	0	36,000
賃借料	3,240,000	3,240,000	0
通信運搬費	656,248	760,416	△ 104,168
備品消耗品費	743,234	1,056,955	△ 313,721
印刷製本費	29,700	1,062,897	△ 1,033,197
減価償却費	89,205	337,820	△ 248,615
保険料	141,420	148,660	△ 7,240
光熱水料	404,334	485,329	△ 80,995
会議費	51,697	90,468	△ 38,771
交際費	0	0	0
諸税公課	14,300	14,300	0
貸倒損失	51,651	0	51,651
貸倒引当金繰入額	1,154,400	877,060	277,340
雑費	255,470	228,042	27,428
管理費	11,842,159	13,538,953	△ 1,696,794
役員報酬	1,482,000	1,353,000	129,000
人件費	5,430,366	5,835,421	△ 405,055
賞与引当金繰入額	496,527	497,772	△ 1,245
退職給付費用	235,752	133,650	102,102
福利厚生費	57,698	30,364	27,334
委託費	2,141,359	2,147,255	△ 5,896

科目	当年度	前年度	増減
旅費	208,236	217,966	△ 9,730
設備費	307,276	246,925	60,351
研修費	552,170	2,101,626	△ 1,549,456
賃借料	360,000	360,000	0
通信運搬費	72,917	84,491	△ 11,574
備品消耗品費	82,581	111,716	△ 29,135
印刷製本費	0	0	0
減価償却費	9,911	37,535	△ 27,624
保険料	0	0	0
光熱水料	44,925	53,925	△ 9,000
会議費	124,211	125,730	△ 1,519
交際費	38,665	19,425	19,240
諸税公課	3,014	1,215	1,799
雑費	194,551	180,937	13,614
経常費用計	138,467,913	143,771,690	△ 5,303,777
当期経常増減額	△ 2,928,775	△ 7,535,545	4,606,770
2 経常外増減の部			
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 2,928,775	△ 7,535,545	4,606,770
一般正味財産期首残高	43,988,495	51,524,040	△ 7,535,545
一般正味財産期末残高	41,059,720	43,988,495	△ 2,928,775
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
受取寄附金			0
受取寄附金	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000	0
Ⅲ 正味財産期末残高	44,059,720	46,988,495	△ 2,928,775

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

「公益法人会計基準」（平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会）を適用している。

当法人は収益事業は実施しておらず、かつ、公益目的事業が一つしかないため、正味財産増減計算書内訳表の作成を省略している。

(1) 固定資産の減価償却方法

① 建物附属設備

定額法を採用している。

なお、建物附属設備の主な耐用年数は3年～15年である。

② 工具器具備品

定率法を採用している。

なお、工具器具備品の主な耐用年数は3年～15年である。

(2) 引当金の計上基準

① 貸倒引当金

事業負担金債権等の貸倒による損失に備えるため、一般債権については過去の貸倒実績に基づく繰入率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収の可能性を検討し、回収不能見積額を計上している。

② 賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見積額のうち当年度に帰属する額を計上している。

③ 退職給付引当金

職員に対する退職手当の支給に備えるため、職員退職手当支給規程に基づく期末要支給額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	3,000,000	-	-	3,000,000
小 計	3,000,000	-	-	3,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	5,963,236	3,974,700	1,985,636	7,952,300
小 計	5,963,236	3,974,700	1,985,636	7,952,300
合 計	8,963,236	3,974,700	1,985,636	10,952,300

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	3,000,000	(3,000,000)	(0)	(0)
小 計	3,000,000	(3,000,000)	(0)	(0)
特定資産				
退職給付引当資産	7,952,300	(0)	(0)	(7,952,300)
小 計	7,952,300	(0)	(0)	(7,952,300)
合 計	10,952,300	(3,000,000)	(0)	(7,952,300)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	749,217	△ 374,213	375,004
工具器具備品	932,953	△ 808,172	124,781
合 計	1,682,170	△ 1,182,385	499,785

5 関連当事者との取引の内容

該当事項はない。

6 重要な後発事象

該当事項はない。

7 退職給付債務

(1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

(2) 退職給付債務及びその内訳

(単位：円)

退職給付債務	7,952,300
退職給付引当金	7,952,300

(3) 退職給付費用に関する事項

(単位：円)

勤務費用	3,974,700
退職給付費用	3,974,700

(4) 退職給付債務の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算にあたっては、退職一時金制度に基づく期末要支給額を基礎として計算している。

8 その他

- (1) 当法人が公益目的事業として実施する適正化事業のうち、貸切バス事業者に対する指導業務の一部について、外部に業務委託している。当該業務委託の一部については、包括的な業務委託契約であり経済的なリスクは生じていないため、負担金の収入及び委託料の支払が発生していない。そのため、経済的実質を考慮し、当該委託業務に係る損益は正味財産増減計算書に反映していない。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記「2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載している。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
貸倒引当金	1,721,310	1,154,400	-	-	2,875,710
賞与引当金	8,569,789	8,427,134	8,569,789	-	8,427,134
退職給付引当金	5,963,200	3,974,700	1,985,600	-	7,952,300

財産目録

令和3年3月31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手元保管	運転資金として	301,268
預金	普通預金	運転資金として	
	埼玉りそな銀行		4,768,126
	さいたま新都心支店		
	みずほ銀行大宮支店		8,535,047
	三井住友銀行大宮支店		27,273,284
未収金	事業者負担金徴収先	事業者負担金未回収分	12,571,560
貸倒引当金			△ 2,875,710
流動資産合計			50,573,575
(固定資産)			
基本財産			
定期預金	定期預金	公益目的事業で使用している。	3,000,000
	埼玉りそな銀行		
	さいたま新都心支店		
特定資産			
退職給付引当資産	普通預金	退職給付引当金見合いの引当資産である。	7,952,300
	埼玉りそな銀行		
	さいたま新都心支店		
その他固定資産			
建物附属設備	パーテーション他	共有財産であり、公益目的事業と管理事業に使用している。	375,004
工具器具備品	受付カウンター他	共有財産であり、公益目的事業と管理事業に使用している。	124,781
固定資産合計			11,452,085
資産合計			62,025,660
(流動負債)			
未払費用	諸経費に対する未払費用	公益目的事業、管理事業の諸経費に対する未払費用	798,592
預り金	大宮税務署他	源泉所得税等の未納分	692,494
仮受金	事業者負担金返還先	脱退・過誤納付等による事業者負担金返還未了分	95,420
賞与引当金	職員に対するもの	職員に対する賞与の支払いに備えたもの	8,427,134
流動負債合計			10,013,640
(固定負債)			
退職給付引当金	職員に対するもの	職員に対する退職金の支払いに備えたもの	7,952,300
固定負債合計			7,952,300
負債合計			17,965,940
正味財産			44,059,720